



■長崎がんばらんば国体 トピックス

フェンシング競技 少年男女大健闘!!

フェンシング少年女子が、本大会3日目にして初の団体での優勝を勝ち取りました。少年男子も3位に入賞し、少年男女で上位入賞の快挙を成し遂げました。夏のインターハイで活躍した選手を中心に、長崎国体でも健闘し、レスリング競技や自転車競技等で多くの入賞を果たすなど、少年種別の選手の健闘が光っています。これから競技が始まる選手の皆さんも、自信を持って試合に臨んでください。頑張ろう!チーム和歌山!!

入賞おめでとうございます!!



●空手道競技

成年男子	形	宮本 侑(大阪体育大学)	5位(2.5点)
成年女子	形	柏岡鈴香(同志社大学)	5位(2.5点)

●レスリング競技 (成年男子のフリースタイルは、台風による日程変更のためベスト8で競技終了し、8名とも1位で4.5点)

成年男子	フリースタイル57kg級	守田泰弘(和歌山県教育庁)	1位(4.5点)
	フリースタイル86kg級	奥井眞生(国士舘大学)	1位(4.5点)
	グレコローマンスタイル66kg級	堀後雄太(拓殖大学)	5位(2.5点)
少年男子	フリースタイル50kg級	方杭祥汰(県立和歌山北高等学校)	5位(2.5点)
	フリースタイル74kg級	吉田隆起(県立和歌山北高等学校)	1位(8点)
	グレコローマンスタイル60kg級	奥井勇真(県立和歌山北高等学校)	5位(2.5点)
	グレコローマンスタイル84kg級	前田善之(県立和歌山北高等学校)	5位(2.5点)

●ウエイトリフティング競技

成年男子	77kg級(スナッチ)	白草竜太(和歌山県教育庁)	4位(5点)
	(クリーン&ジャーク)	白草竜太(和歌山県教育庁)	6位(3点)
	85kg級(スナッチ)	武市 樹(和歌山県教育庁)	4位(5点)
	(クリーン&ジャーク)	武市 樹(和歌山県教育庁)	3位(6点)
	94kg級(スナッチ)	川畑源大(県立那賀高等学校:教)	4位(5点)
	(クリーン&ジャーク)	川畑源大(県立那賀高等学校:教)	2位(7点)

●相撲競技

少年男子	団体	木悠介(箕島高等学校) 大原友海(桐蔭高等学校) 志村大器(箕島高等学校) 菅野陽太(箕島高等学校) 児嶋重憲(箕島高等学校)	5位(12.5点)
成年男子	団体	富田元輝(和歌山県庁) 関沢英行(和歌山県教育庁) 森本太良(和歌山県庁)	5位(7.5点)

●ボウリング競技

少年女子	個人戦	山本菜由(県立星林高校)	8位(1点)
成年女子	個人戦	亀島愛永(和歌山大学)	5位(4点)

●フェンシング競技

少年男子	フルーレ	榎本芽玖(県立和歌山北高等学校) 松村侑馬(県立和歌山北高等学校) 網代聖也(県立箕島高等学校)	3位(18点)
少年女子	フルーレ	西岡真穂(県立和歌山北高等学校) 東 莉央(県立和歌山北高等学校) 東 晟良(和歌山市立紀之川中学校)	1位(24点)

●自転車競技

男子	チームスプリント	橋本凌甫(和歌山県教育庁) 布居 翼(県立和歌山北高等学校) 南 潤(県立和歌山北高等学校)	3位(18点)
----	----------	---	---------

●アーチェリー競技

成年男子	古川高晴(近畿大学生物理工学部:職) 山田啓睦(近畿大学) 向井 徹(近畿大学)	8位(3点)
------	---	--------

※10月14日(火)~10月15日(水)17:00までの入賞者



選手・監督からのコメント

○川畑源大選手(ウエイトリフティング競技:成年男子)

今回の出来は60点です。紀の国わかやま国体では優勝できるように頑張って練習します。

○白草竜太選手(ウエイトリフティング競技:成年男子)

今回は、コンディションを整え試合に挑んだつもりでしたが、スナッチ、クリーン&ジャーク共に大事な所で落としてしまいました。紀の国わかやま国体ではしっかり結果を残したいと思います。

○武市 樹選手(ウエイトリフティング競技:成年男子)

もったいない失敗もありましたが、目標の3位を達成できよかったです。紀の国わかやま国体本番に向け、精度を上げ、優勝を目指して頑張りたいと思います。

○亀島愛永選手(ボウリング競技:成年女子)

個人戦は入賞を目標にしていたので良かったです。予選より順位が2つ下が残念です。スペアミスがいくつかあったので修正し、来年は個人戦で優勝を狙います。

○山本菜由選手(ボウリング競技:少年女子)

昨年10位で悔しい思いをしたので、長崎では絶対に入賞したかったです。8位ですが入賞でき良かったです。

○方杭祥汰選手(レスリング競技:少年男子)

5位に入賞しましたが、今回の目標は3位だったので、自分としては納得できていない部分があります。負けた試合も、最後に守りに入ってしまい逆転されたので、来年は勝ちきる強さを身につけ優勝を目指します。

○吉田隆起選手(レスリング競技:少年男子)

優勝できて本当にうれしいです。決勝の相手がインターハイ決勝で負けた相手だったので絶対に勝ちたかったです。怪我もあり、あまり十分な練習ができない不安から攻められる場面も多かったですが、落ち着いて試合ができたことがよかったです。紀の国わかやま国体ではダントツで優勝し、県民の方に元気を与えられるような試合をしたいです。

○奥井眞生選手(レスリング競技:成年男子)

2回戦は、油断をしてしまい先にポイントを取られてしまいました。試合を通して気を引き締めて戦うことを心がけて戦いました。強い相手だったので、勝てたことで自信になりました。和歌山はレベルが高いので、紀の国わかやま国体の代表になれるようにがんばります。

○守田泰弘選手(レスリング競技:成年男子)

準々決勝以降の試合ができないのは残念ですが、どんな形であれ1位はうれしいです。今後、天皇杯全日本選手権、全日本選抜と実績を積んで紀の国わかやま国体では優勝したいです。

○堀後雄太選手(レスリング競技:成年男子)

目標は3位以上を目指していたので悔しいです。今回は自分の得意な技をなかなか決めることができなかったのが、来年の紀の国わかやま国体に向けて、その技をさらに磨き頑張ります。

○奥井勇真選手(レスリング競技:少年男子)

3位入賞を目指していたし、絶対勝ちたかったので悔しいです。でも、来年の紀の国わかやま国体に向けて努力と練習あるのみだと思っているので、自分のためにも出場目指して頑張りたいです。

○前田善之選手(レスリング競技:少年男子)

3位入賞を目指していましたが、5位入賞できてうれしいです。日頃から成年男子の選手とトレーニングを重ねてきたのでその結果だと思っています。来年も国体選手に選ばれ、和歌山県のために貢献したいです。





選手・監督からのコメント

○宮本 侑選手(空手道競技:成年男子)

昨年の少年の部での入賞に続き、今年は、成年で5位に入賞することができました。さらに力をつけ紀の国わかやま国体では優勝を目指します。

○柏岡鈴香選手(空手道競技:成年女子)

昨年の東京国体で上位入賞できましたが、この長崎国体では地元の選手と対戦し5位となり、とても悔しいです。必ず来年は優勝を目指します。

○池田真之監督(相撲競技:少年男子)

最低限の目標を達成できました。来年につながる結果を残すことができましたが、これに満足せず来年に向けてさらに精進します。

○志村大器選手(相撲競技:少年男子)

ベスト8に入った嬉しさよりも、準決勝に進めなかった悔しさの方が大きいです。来年の国体は、後輩たちに頑張ってもらい、今年以上の成績を残して欲しいです。

○関沢英行選手(相撲競技:成年男子)

少年男子に続き、なんとか入賞できました。来年のシード権を獲得することができてホッとしています。しかし、ベスト8まで進みながら、もう一つ勝ち上がれなかったことに悔いが残ります。現状に満足せず、上を目指していきます。

○和田好史監督(アーチェリー競技:成年男子)

来年に向けて優勝を目指してやってきたので、入賞とはいうものの悔しいです。この悔しさを来年に向け、更なる選手強化を図り、本番では優勝を目指します。

○古川高晴選手(アーチェリー競技:成年男子)

和歌山国体では優勝を目指しているので、今年はベスト4が目標でした。そこに入れなかったのは悔しいです。今回は3人とも力を出し切れませんでした。力を出せば目標達成は可能でした。来年に向けて練習して、来年は優勝を目指します。

○上野 孝監督(自転車競技:少年男子)

チームスプリントでは、ベスト4以上という目標を達成できたのでよかったです。来年も残る橋本、南の連携がうまくいき、ベストタイムを出せたことは来年に繋がると思います。紀の国わかやま国体では優勝目指して頑張ります。

○橋本凌甫選手(自転車競技:成年男子)

優勝を目指して頑張ってきたので残念ですが、ベストタイムを出せたことは良かったと思います。3人の息もぴったり合い、緊張せずにレースができました。和歌山国体ではメンバーが変わるので、しっかり練習し優勝したいと思います。

○後藤真徳監督(フェンシング競技:少年男子)

今回の目標としていた結果をクリアすることが出来、本当に嬉しく思います。選手一人一人が役割を果たし、チームで勝ち取った3位になりました。紀の国わかやま国体では、今回の結果を上回れるよう頑張ります。皆さんのサポート、応援が凄く力になり勝つことができました。ありがとうございました。

○網代聖也選手(フェンシング競技:少年男子)

今回の国体では、自分はまだ活躍できませんでしたが、結果3位でとてもうれしかったです。紀の国わかやま国体に向けて、良いシードがとれました。

○市川真知子監督(フェンシング競技:少年女子)

近畿ブロックで負け出場できなかった成年女子の分まで頑張ろうと、少年男女も成年女子にレッスンやファイティングの相手をしてもらい、良い状態で試合に望めました。少年女子の優勝も少年男子の3位も、紀の国わかやま国体に向けて良い勉強になりました。これからも頑張ります。

○西岡真穂選手(フェンシング競技:少年女子)

今回の優勝は、この3人だったからこそだと思います。皆さんのサポートのおかげです。ありがとうございました。

